

# 学校だより

明るく 元気に たくましく

平成22年3月3日発行

広島市立広島特別支援学校

校長 中尾 秀行

TEL 082 - 245 - 0304

E-mail : [yougo-s@e.city.hiroshima.jp](mailto:yougo-s@e.city.hiroshima.jp)

FAX 082 - 245 - 0349

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>

## はじめに

三学期は、学習のまとめの時期であり、学習した作品の展示や発表などの行事やお別れ会、卒業式など卒業生を送る行事、入学説明会、入学式など新入生を迎える準備など、短い3か月ですがとても充実しています。昨年、インフルエンザが流行しましたが、健康に気を付けて、児童生徒が元気に学校生活を送ることができるよう願っています。

## 校内実習

1月25日(月)から29日(金)の1週間、高等部第1学年の生徒は、校内実習を行いました。実習を通して働くことや、普段の生活との違いを知ること、将来の生活に向けて、自分の適性や課題について考えることなどを目的に、かきの殻通し、しいたけの菌打ち、軽作業、マドレーヌ作り、清掃、縫製の六つの班に分かれて、作業に取り組みました。特に、清掃班やしいたけの菌打ち班では、専門家の方に指導を受けて、作業の方法などを学習しました。いずれの作業班の生徒も、黙々と取り組み、日ごとに技術もうまくなっており、初日と最終日を比較すると製品の出来は、丁寧になってきました。進路に向けた取組の一つですが、作業を通して、生徒一人一人の能力を向上させていくことや課題解決に向けての大切な学習の場です。

しいたけの  
菌うち班



清掃班



縫製班



## 「ことばの輝き」優秀作品コンクール

このコンクールは、広島県教育委員会が主催するもので、県内の小、中、高等学校及び特別支援学校の児童生徒が日頃の教育活動の中で作成した作文や詩などの中から優秀な作品を広く紹介し、「ことばの教育」を推進することを目的とするものです。このたび、本校の高等部第2学年の青木歩美さんの詩が最優秀賞に輝きました。題は、「君といる日々」で、かけがえのない「君」に感謝の気持ちを伝えようとする内容です。今後とも、児童生徒が持っている能力を最大限引き出せるよう指導・支援していきたいと考えています。

## 学校給食週間

1月25日(月)から2月5日(金)まで、学校給食週間とし、小学部の児童が作成した紙粘土のお弁当や中学部の生徒が作成した給食新聞などの展示、色塗りをした給食メニューの掲示を行うとともに、「給食大好き」というビデオの放送を行いました。これは、バランスよく食べることで丈夫な体になること 食に対する関心をもつこと いつも食べている給食について知ることを目的にしたものです。この取組により、児童生徒へ給食について一層の関心を高めさせて、食育の推進を図っていききたいと考えています。



## アートアンドバザールの作品展示



1月28日(木)から30日(土)まで、アステールプラザにおいて、本校の作品や作業学習の製品を展示しました。小規模作業所の製品販売も行われ、約900名もの市民の方が来場されました。児童生徒の心温まる作品や丹誠込めて作った製品は、多くの人の感動を呼んでいました。今後さらに多くの方々に御覧いただくよう展示内容や展示方法等工夫していききたいと思っています。

## 入学調査

2月3日(水)に高等部入学調査を行いました。当日は、66名の生徒の入学調査を行い、後日2名実施しましたので、計68名が入学調査を受けました。本年度は、コミュニケーションの力を見るため、初めて生徒の面接を実施しました。教職員の間では、生徒の顔を見ながら身近に生徒と話ができたことで実態が把握しやすいという感想や学級編制に役立てることができるという感想がありました。今後は、学力検査等の検討やインフルエンザ等の対応等より綿密な対策を立て、入学調査をより一層改善していきたいと考えています。なお、2月24日(水)は、小・中学部入学調査を行い、十全な児童生徒の実態把握を行いました。ここでの情報も当然、今後の学級編制や指導計画に生かしていきます。

## 地域生活・就労支援ネットワーク会

2月8日(月)には、就労支援ネットワーク会を行いました。この会は、生徒の地域における生活・就労支援を進めるために、相談支援機関及び施設との連携を図ることを目的に行う会で、当日、作業所の所長、施設の施設長、相談員、コーディネーター、保護者の方にお集まりいただき、本校の進路指導の現状と課題を出して、意見交換を行いました。特に、継続した相談を行うことができるようにすること、サポートファイルと個別の教育支援計画を活用すること、12年間の系統立てた働く力の育成が重要であること等貴重な御意見をいただきました。今後の進路指導の改善に生かしていきたいと考えています。また、早期から保護者との連携をより一層行うことで、課題に関して共通意識をもって取り組むことができるようにしていかなければなりません。

## 学校協力者会議

2月23日(火)には、第3回学校協力者会議を行いました。広島大学教授、准教授、もみじ福祉会理事長、瀬野川学園施設長、元小学校長、なぎさ園園長、育成園園長、町内会長、PTA会長、元PTA会長の10名で構成する学校協力者の委員の皆様を招いて、本校の現状と課題や本年度の学校経営計画最終評価や来年度の学校経営計画について貴重な御意見をいただきました。年間計画や単元計画表がなくては指導ができないはずであること、「仲良く」とか「楽しく」という説得力のない評価が多いこと、自閉症の障害の理解は絶対に取り組んでほしいこと、ネームプレートは他の社会では当然のことであり、ようやくできたことなどさまざまな御意見や御感想をいただきました。今後とも、本校の取組に御指導御助言いただき、当たり前なのが当たり前でできる学校にしていきたいと考えています。



## 高等部生徒就職支援連携会議

2月24日(水)には、公共職業安定所、障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、就労振興センター、健康福祉局障害自立支援課等の諸機関から、関係者の方にお集まりいただき、高等部生徒就職支援連携会議を本校において行いました。本会議は、本校高等部の生徒の就職について各関係機関に本校の取組状況を説明し、意見交換や情報交換を行い、連携を深め、生徒の就職に役立てる会です。各関係機関から、あいさつができないこと、コミュニケーションができていないことなど本校の生徒の課題を伺うことができました。このことは、平素の生徒への指導を行う教員自身の姿勢も重要なことであり、指導目標や指導内容を見直し、よりきめ細かな指導・支援に努めていくことが求められています。日々の指導から学習グループの編制まで今後の生徒の指導に生かしていかなければなりません。



## 歯磨き指導

2月25日(木)に、学校歯科医の上田裕次先生をはじめ、歯科医の先生や歯科衛生士の方々が来てくださり、高等部3年生の歯磨き指導をしてくださいました。歯垢染め出し液を歯に塗ってもらい、赤く染まった磨き残し部分を鏡で確認しながら個別にブラッシングの仕方を教えていただくなど、生徒にとって、とても分かり易いものでした。もうすぐ卒業して社会に巣立っていく高等部3年生です。今日御指導いただいたことを参考にしながら、今後とも、健康維持やマナーとして、歯磨きを続けていきたいものです。

